

第七中学校区における市立こども園設置に関する意見交換会 会議録

(平成 29 年 7 月 11 日 開催分)

【1. 開催日時・場所】

平成 29 年 7 月 11 日(火) 午後 6 時 30 分～午後 9 時
ゆいまーる習志野 1 階福祉交流スペース

【2. 出席者】

- 地域住民 86 名(資料配布枚数)
- 習志野市 (竹田こども部長・小澤こども部次長・小野寺こども政策課長・松岡同課施設係長)

【3. 内容】

- 第七中学校区のこども園設置について

【4. 配布資料】

- 第七中学校区における市立こども園の設置について
(平成 29 年 6 月 17 日 秋津まちづくり会議 配布資料)

【5. 意見交換会概要】

1. 開会

<竹田こども部長 挨拶>

第七中学校区のこども園設置ということについて、6 月 17 日のまちづくり会議で説明させていただきましたが、時間が不足したこともあり、本日は、改めて、御説明させています。

前回の説明から今日までの間、地域のなかでは、いろいろなお話が飛び交ってしまったようで、混乱を招いてしまったことは大変申し訳ありませんでした。

今日は、そういった経過を含めて、説明させていただきます。

まず、秋津幼稚園、香澄幼稚園の今後については、確かに計画上にはございません。

今、習志野市のなかで計画があるのは、平成 31 年度までの計画です。

このなかで、今後の幼稚園、保育所、こども園について、どうしていくのか計画があり、基本的に、7 つの中学校区ごとにこども園を設置するということを掲げています。

このこども園の設置に合わせまして、保育所については枠を広げ、幼稚園については、こども園に統合し、一部については民営化を進めていく予定であります。

平成 26 年、27 年には秋津幼稚園の入園が 10 名ということでしたが、平成 28 年、29 年には、香澄幼稚園の入園が 7 名、5 名となりました。

この 4 月の香澄幼稚園の入園実数が 5 名ということで、ここまで少なくなってしまうと、市としては、集団教育を提供することが難しいということから、検討を早めました。

小学校へ、滑らかに就学を迎えていくには大変重要な時期ですので、現状が心苦しく、少しでも早くこの問題を解消したいということから、秋津幼稚園、香澄幼稚園を統合することを検討させていただきました。

また、こども園の設置場所について、本来、両幼稚園の中央に設置できれば良いですが、これについては時間を要します。また、地域の小学校、中学校の再編については、まだまだ時間を要します。

そこで、既存施設を活用させていただくことし、秋津幼稚園と香澄幼稚園のどちらかを選択しなければならず、地域のバランスから香澄幼稚園を選択させていただきました。

説明が唐突であったことは反省しておりますが、何分、小さな子どもたちのために、早急に対応させていただきたいと考えたものであり、御理解いただければと思います。

本市の幼稚園運営は、2 年保育となっているため、何か変更がある場合は 2 年前周知を原則としておりました。

ただ、2 年後まで現状を放っておけないということで、平成 31 年に 2 つの幼稚園を統合し、香澄幼稚園にこども園を開園させようとするものです。

現在、秋津や香澄の地域のみなさま、幼稚園の保護者のみなさまに御説明させていただいているところで、本日は、改めて、みなさまと意見交換させていただきたいと思います。

<地域住民>

今日は、説明会ということで、市が決定したことを説明されるのですか？

秋津在住の住民が大きな反対をした場合、方針が変わることがあるのでしょうか？

市の説明を聞く前に、まず、そこを確認しておく必要があります。

<市>

変更の余地はあります。

本日、いただいた御意見のなかで変更すべきと判断できるものがあれば、真摯に受け止め、改善させていただきます。

本日は、市の決定事項を報告するという場ではありません。

3. 第七中学校区のこども園設置についての説明

<小野寺こども政策課長>

- ※ 6月17日に秋津まちづくり会議で配布した資料に基づき、これまでのこども園整備や市立幼稚園・保育所の私立化、第七中学校区のこども園の設置について、改めて、説明しました。
- ※ 地域バランスを考慮し、香澄幼稚園と秋津幼稚園を統合した上で、香澄幼稚園を活用したこども園整備を検討していることを説明しました。

4. 質疑応答

<地域住民>

子どもが秋津幼稚園に通っています。

秋津幼稚園では、これまで2回、説明会が開催されており、2回目の説明会のときに、反対の声があがり、市の方で検討するとのことでした。

その結果、地域性を考慮して、やはり香澄幼稚園を選択されたとの説明がありました。

秋津幼稚園と香澄幼稚園の在園数のバランスと、地域バランスを考えた時、なぜ、地域バランスを優先したのでしょうか？

香澄幼稚園の平成29年度の年少組の子どもの数は少ないです。

また、秋津幼稚園も13名で少ないとのことですが、平成26・27年度は10名ずつともっと少ない状況でした。なぜ、その時にこのような議論にならなかったのでしょうか？

平成29年度の在園数をみて、慌てて言われても、平成29年度の秋津幼稚園の年少組の13名という数を無理やり少ないと言われているように感じます。

人数のバランスは、幼稚園教育を必要としているバランスとなりますので、地域バランスよりも優先すべきものであると考えますがいかがでしょうか？

統合されて困る人のバランスも考えるべきで、今の状況では、秋津地域の方が困る人が多くなります。

公平性と考え、幅広くサービスを提供するということでは、母数が多い方を優先すべきと考えますが、なぜ、地域バランスを優先したのか教えてください。

<地域住民>

関連して話があります。

秋津地域では、これまでも将来の地域のことを考えてきており、子どもが少なくなってきた状況を受け、若い人たちに入ってきてもらえるように努力をしてきました。地域はがんばっています。

市はこれを見捨てるのでしょうか？細かい話がなく、地域バランスというだけで、香澄幼稚園にこども園をつくるという話をされています。地域性だけの説明をされても、市から訴えかけるものは何もないです。

習志野市の幼稚園、小学校、中学校が地域に近いことを評価して、ここに住みました。幼稚園の在園数が少なくなったから、簡単にやめてしまうのでしょうか？

これまで、地域と市は一緒にやってきました。先ほどの説明ではとても納得できません。

また、先程から幼稚園の話だけされていますが、幼稚園が変われば、小学校も、中学校も変わります。

この部分の話がなく、全体像が見えないのは困ります。

習志野市には、まちづくりの基本理念があります。

市が教育に力を入れてきたなかで、実態が変わって厳しいのは分かります。

ただ、関係者だけに説明をするのではなく、まちづくりの観点から全体像の話が必要です。地域と市と一緒に議論して決めていかないと、子どもたちがかわいそうですし、市として成り立っていきません。

教育として、子どもの数が少ないと困ることは分かりますが、今後の審議のなかできちんと説明をしていただきたいと思います。

<市>

今、「習志野市公共施設再生計画」(以下、「公共施設再生計画」という。)を含めてお話をいただきましたが、今回のお話は、公共施設の再生とは切り離してお考えいただければと思います。

その公共施設再生計画に小中学校のことも書かれていますが、小中学校の今後の有り方が簡単にいかないことは、市としても十分に認識しております。

公共施設再生計画のなかでも、記載のとおり検討が進んでいないものもあり、秋津幼稚園、香澄幼稚園の統合についても、平成 37 年度にできるのかどうか難しい部分もあります。

幼・小・中の一貫校ということになれば、地域全体の話として、いろんな形で意見交換を重ねていく必要があると思います。

小学校というのは、まちづくりのキーとなります。そういう時期が必ず来ると思います。

ただ、市としては、それを待つことができず、今、幼稚園の子どもたちの集団教育の環境を何とかしなければならぬと考えております。

こども園の設置にあたり、秋津幼稚園なのか、香澄幼稚園なのか悩みました。

配布資料の裏面にあるように、地域バランスでいうと香澄幼稚園は真ん中ではありませんが、袖ヶ浦こども園を設置したときに、袖ヶ浦 5 丁目、6 丁目にお住いの方で遠くて通えない方も出ており、そのなかでは香澄幼稚園を御選択いただいた経過もございます。

秋津地域においては、京葉道路を挟みますが、袖ヶ浦こども園に通うこともできます。
これにも通えない方で、他に選択肢のある方もいらっしゃると思いますが、そういった方々に対して、市としては最大限支援していきたいと考えています。

<地域住民>

今までの話を聞いて、1つ提案があります。

児童数が多い、秋津幼稚園を主に考えるのが平等であるなかで、香澄幼稚園の児童数が少ない事へのサポートも必要だと思います。

この両方を満たすために、場所を1点に集約させるのではなく、秋津幼稚園を維持しつつ、香澄幼稚園をサポートする方法として、香澄幼稚園の子どもたちを秋津幼稚園にピストン輸送する方法があると思います。

場所を必ずしも集約する必要はありません。一度、持ち帰って、是非、御検討ください。

<地域住民>

地図上のバランスで、香澄幼稚園を選択されたかと思います。

香澄幼稚園にも少ないながら児童はいるので、何かしら対応は必要かと思います。

先程の説明だと、平成31年度以降に統合するとのことでしたが、現在の香澄幼稚園の年少組の子どもたちは、少人数教育のまま小学校にあがることとなります。

そうであれば、平成30年度から、秋津幼稚園に香澄幼稚園の子どもたちをピストン輸送して、その子どもたちにも、大人数で教育を受けさせてあげることができないでしょうか？

輸送するのであれば、少人数の方が輸送しやすいです。

<地域住民>

香澄幼稚園の子どもが少ないのだから、来年4月からでも香澄幼稚園の子どもに秋津幼稚園まで来てもらえば良いのではないのでしょうか。

将来的には地域の中央につくろうとしているのでしょうか？

今回は、あくまで暫定的に設置しようとしているものなののでしょうか？

<市>

市立こども園の設置については、小学校との関連が非常に大きいです。

本来、第七中学校の位置あたり、0歳～5歳までを受け入れるこども園を設置するべきですが、今、それはできません。

そのため、まず、香澄幼稚園を活用して、こども園を設置しようとするものです。

御提案いただきました、ピストン輸送につきましては即答ができませんので、一度、持ち帰って検討したいと思います。

<市>

これまで、秋津幼稚園、香澄幼稚園、未就園児の保護者のみなさまにも、香澄幼稚園を選択させていただきたいことを説明してきました。

秋津幼稚園の在園児は、職員の努力もあって近年増えています。平成 29 年度は、年少組の 13 名のうち、9 名が秋津地域で、その他は、秋津幼稚園が良いということで、他の地域から通っていただけています。

これは大変嬉しいことですが、市立幼稚園はどこでも同じ教育をするため、同じカリキュラムで教育を行っており、地域の近くの幼稚園に通っていただけることが有り難いことです。

現状、市立幼稚園では、全ての幼稚園で定員を割っており、市立こども園の短時間児も同様であり、地域のなかに通える施設がある現状です。

また、地域の外から通っていただいている状況がありますので、来年度以降の入園数は未知数です。

秋津地域・香澄地域における、児童数の状況を確認してみたところ、どちらも同じ状況です。両地域とも、保育所を選んでいる方が一番多く、私立幼稚園と公立幼稚園を選んでいる方が同率といった状況です。今年は、たまたま秋津幼稚園への入園が 13 名と多くなりましたが、来年度以降どうなるかはわかりません。

また、秋津幼稚園の保護者のみなさまに、なぜ秋津幼稚園が良いのか伺ったところ、1 番強かったのは、自然環境が整っていること、先生方が良いということで、園をなくしてほしくないというものでした。

しかし、公立施設は異動があり、状況が変わることも考えられます。

そこで、秋津幼稚園と香澄幼稚園を比較してみました。

秋津幼稚園は、自然環境が素晴らしく、男性職員がいて、手が行き届いています。香澄幼稚園も同様の自然環境がありますが、女性職員しかおらず、手が行き届かない状況です。この他、施設の老朽度も同様、構成も同様になります。

なぜ、早急に動いているかという、運営費の問題や職員配置の問題があります。

消耗品費は、人数で割り当てられますので両施設とも少なくなります。この少ない予算のなかで何とかやりくりをしています。

また、職員配置については、両施設とも在園児が少ないことから、本来、配置する教務主任を置かず、待機児童解消のために他の施設に回さざるを得ない状況です。

こういったことから、できるだけ良い環境で保育をさせていただくため、2 つの施設を統合し、こども園とすることを提案させていただきました。

<地域住民>

コミュニティスクールの顧問をしています。市は学校価値や住民自治について、どう考えているのでしょうか？

私たちは、学校教育と社会教育が重要であると考えており、これがコミュニティスクールです。この先端が秋津小学校ですが、この取組は学校の先生だけではダメです。園庭のピオトープも地域住民が作り上げたものです。

適正規模というものは、具体的にどの程度なのでしょう？

市としてできることは子どもを増やしていくことです。

秋津地域は、どーんと宅地分譲をしてしまったため高齢化につながってしまっており、市のこれまでの都市政策に疑問があります。

つい最近でも、奏の杜地域で同じ失敗をしています。秋津地域もそうでした。

学校、保育所、幼稚園をなくしてしまったら、若者はもっと入ってこなくなります。

市として、どうしたら子どもを増やせるのか、どうしたら秋津地域を存続させられるのかについて、対応していくべきです。

<市>

子どもを増やす施策を行っていくべきとの御意見は、御指摘のとおりです。

生産年齢人口を増やし、まちの活性化を図っていくことは、市長部局と教育委員会が一体となって取り組んでいくべき問題で、市長が先頭を切って、市の総合政策の部署が先頭を切って取り組んでいく必要があります。このまま、秋津地域を衰退させてしまって良いとは、市長ももちろん思っていないです。

香澄地域についても、同時期に埋め立て、住宅を建てたため、人口が急激に増えており、現在、高齢化が進んでおります。

秋津地域、香澄地域ともに、今後、秋津小学校、香澄小学校をはじめ、公共施設のあるところを活用し、どう変化させていくかが課題となります。そして、人口を確保していくことが必要なことは十分承知しております。このことについては、機会あるごとに、市長を含めた会議等で話をしていきたいと思っております。

ただし、このことは数年でどうにかなるものではないため、もう少し、お時間をいただきたいと思っておりますが、御意見は真摯に受け止めます。

小さいお子さんを抱えるお母さん方には本件について迷いがあると思っております。

一方、早く結論が出ないと、来年度以降のことに影響がでてしまうこともあります。

そのため、あまり時間をかけないなかでも、地域のみなさまとはじっくり話をしていきたいと思っております。

<地域住民>

市からは、腑に落ちる合理的な説明がありました。説明会の冒頭に計画を変更することもあり得るとのことでした。

どういう状況になれば、香澄幼稚園ではなく、秋津幼稚園が選択されるように変更されるのでしょうか？今日のこれまでの意見のなかで、変更されるようなものはありましたか？

秋津幼稚園に変更できるような意見がほしいということであれば、たくさんの意見がでるはずだと思います。

<市>

これからの人口推計を見ると、保育所に子どもが流れていることもあり、秋津幼稚園、香澄幼稚園ともにいっぱいになることは考えられない状況です。

そのため、どうなったら変更されるかについて、本日、お答えすることは難しいです。

先程も申し上げた通り、人口確保への取組は時間がかかるため、地域のみなさんとじっくり取り組んでいきたいと思っています。

本件については、本日をもって決定ということではないため、多くの御意見を頂戴したいと思います。

<地域住民>

先日、幼稚園でも説明を受けました。

2歳の子がいて、これからどうするか考えています。

秋津幼稚園の年少組は13名でも集団生活が成り立っています。

香澄幼稚園の年少組の5名ということが問題で、香澄幼稚園をこども園にすることは、働きながら子どもを預けることができるようにもなり、問題ありません。

秋津地域では3歳児保育を望む声も多くなかで、秋津幼稚園が3年保育を実施していないため、バスを使って40分くらいかけて私立幼稚園を利用しています。

秋津幼稚園で3年保育はできないのでしょうか？

過疎地ではない便利な秋津地域は、将来、子どもがいなくなることは考えられないので、秋津幼稚園は残した方が良いでしょう。

秋津地域のコミュニティは全国的にも評価されており、秋津小学校だけでなく、地域の方々が集会所を活用して子どもをみているように、地域の関わりが強いと思います。

このようななかで、幼稚園だけなくなってしまうのは良くないし、幼稚園は小学校にもつながっていきます。

空き教室を活用して、3歳児の受入はできないのでしょうか？

地域の方々にお世話になった子どもたちは、将来、大人になったとき、感謝をして地域に戻ってきます。そうやって、つながっていくものです。

<市>

幼稚園での説明会でも同じような御意見を頂戴します。

習志野市は、文教住宅都市憲章のもと、1小学校区1幼稚園として、これまで、市が幼稚園を運営してきました。

しかし、公立幼稚園の入園状況は定員の30%を下回る状況です。そのため、幼稚園のあり方について、平成12年から検討を進めてきました。

その結果、市としては私立幼稚園になじめないなど、いろんな子どもたちがいるなかで、市の教育を保持していくために、中学校区ごとにこども園を設置し、しっかりと幼稚園教育を行っていく方針を定めました。

これは全市的な問題で、袖ヶ浦地域では袖ヶ浦西幼稚園、袖ヶ浦東幼稚園を統合し、袖ヶ浦こども園を設置しました。また、大久保こども園の設置にあたりましては、新栄幼稚園を統合させていただき予定です。さらに、東習志野こども園の設置でも同様です。

このように市として、どこかで決断しなければならず、このなかで第七中学校区のこども園について検討した結果が、今日、提案した内容です。

<近隣住民>

地域に対する説明会は今日が初めてですが、あまりに突然で、日時の設定にも問題があります。改めて、若い人や保護者の方々が参加できる週末に開催して欲しいです。

今日の参加者の多くは、秋津地域に30年、40年住んでいる方々であり、秋津地域の将来を心配してきました。ただ、幼稚園がなくなるという問題ではありません。

次回は是非、市長にも出席してもらいたいです。

<地域住民>

自身は、団地再生委員会の委員をやってきたことから、これを踏まえ、考えていることを3点質問します。

まず、今後の幼児の数の見通しがわからないということですが、そんなことはないはずで、今の世の中はいろんなスキルがあるのだから、それを使うべきです。

平成31年に統合したいのであれば、平成29年の2年先の数を示すべきです。

市の教育行政が稚拙であり、奏の杜地域における見込み違いの問題も聞いています。

2年先、将来的なシミュレーションをするべきです。

2 番目、幼児教育の適正規模とは、何人くらいが適正なのでしょう？この点について、全く説明がありません。

3 番目、香澄幼稚園の方の数が少ないのに、地域バランスという説明で香澄幼稚園を選択したのでは納得がいきません。

<市>

先程の説明が足りませんでした。乳幼児人口の全体数の推計は把握ができており、今後、秋津幼稚園、香澄幼稚園をどれだけ選んでいただけるかが分からないと申し上げたものです。

来年度以降の推計を申し上げますと、両施設の入園見込は、平成 30 年 4 月で 16 人、平成 31 年 4 月で 17 人、平成 32 年 4 月で 13 人となっています。

これは、秋津地域・香澄地域の全体の 4 歳児の推計は、平成 30 年 4 月で秋津地域が 31 人、香澄地域が 41 人、平成 31 年 4 月で秋津地域が 33 人、香澄地域が 41 人、平成 32 年 4 月で秋津地域が 31 人、香澄地域が 27 人となっており、このうち、公立幼稚園をどれだけ選んでいただけるか、推計した結果、秋津地域で 29%、香澄地域で 16%となり、先程、説明した見込となります。

しかし、これまで、公立幼稚園では 3 歳児の受入を行っていませんでしたが、こども園となることで受入れが始まり、入園が増えることも見込んでおり、定員を 30 人としています。

現状では、両地域で幼児施設を存続させていくのは困難です。

適正規模については、幼稚園教育要領で下限は示されておりませんが、大勢の子どもたちのなかで切磋琢磨することが望ましいとされています。

市として検討した結果、10 人程度では、ドッジボールや鬼遊びも十分にできないと考えています。

<地域住民>

香澄幼稚園を選択した理由が地域バランスというのは納得がいきません。香澄幼稚園に決めた理由が他にもあるのではないのでしょうか？

香澄幼稚園は自動車道路に面していますが、秋津幼稚園は歩道にしか面していません。こういったことを条件に入れて、香澄幼稚園を選択していませんか？

人数バランスでいけば、秋津幼稚園を選択すべきです。

駐車場の問題なら、確かに秋津幼稚園は接道していませんが、小学校の駐車場を使えば、わざわざ駐車場をつくる必要はないと思います。

<市>

御指摘のとおり、香澄幼稚園を選択した理由の1つは駐車場の問題ですが、大きな理由ではありません。

また、幼稚園の登校園は、これまで、徒歩か自転車ということをお願いをしてきましたが、統合したことで遠くなる場合には車での登降園も認めていきたいと考えています。

秋津幼稚園、香澄幼稚園の置かれている状況は同じで、秋津地域は徒歩で通える袖ヶ浦こども園がありますが、香澄地域は周辺に教育施設がなく、香澄幼稚園がなくなってしまうと行くところがなくなってしまいます。

この他、秋津幼稚園の職員の努力もあり、入園数が増加傾向にあります。今の職員が居なくなった後のことも考えなくてははいけません。

<地域住民>

計画を前倒して、香澄幼稚園を選択する説明が全てこじつけです。

今は、共稼ぎが多いなかで、駅に近いことが重要で、新習志野駅から近い、利便性の良い秋津幼稚園を選ぶべきです。

2年前倒して、香澄幼稚園を選択した理由はなんですか？全てがこじつけにしか聞こえません。もっと、時間をかけて決めるべきで、この説明会をガス抜きに使われては困ります。

<地域住民>

地域性ということで、秋津幼稚園と袖ヶ浦こども園は近いという説明がありましたが、京葉道路で分断されており、歩道橋はありますが遠く、行きようがありません。

このことを考えるのであれば、真ん中にある秋津幼稚園にこども園をつくるべきです。

また、集約した後、残った幼稚園の跡の使い方は決まっているのでしょうか？

<市>

地域性については、京葉道路もありますので決して近いとは思っておりません。

ただし、繰り返しの説明になりますが、市全体をみたとき、1中学校区ごとに1つのこども園を設置するというので、秋津地域の周辺には袖ヶ浦こども園があることから、香澄幼稚園を選択する提案をさせていただきました。

残った幼稚園の活用については、現状では検討していません。

今後、学校や地域のみなさまと、子どもたちにとって有益に活用できるように検討していきたいと思っています。

<地域住民>

地域バランスで香澄幼稚園を選択したとのことですが、地図上のバランスでしかありません。すぐ隣は千葉市です。バスも通っていない、選択の仕方がナンセンスであり、顔を洗って出直してこいと言いたいです。

3歳児の受入を即対応したら、動きがあるはずで、その後の1~2年の推移をみて判断すべきです。

便利な秋津地域から幼稚園をなくしたら、若い人は入ってきません。

自身の近所には、最近、若い人が入ってきて、子どもの声が聞こえるようになってきました。現実のまちの姿を、市の職員は足を使い、目を使い、耳を使いしっかりとみてほしいです。こういったことを汲み上げて、1番良い状態を説明するのが筋です。

そこで1つ提案です。

小学校、中学校を含めた一連の話のなかでの説明がなければ、地域住民は納得できません。

できることなら、一旦、白紙に戻して、若い人たちがたくさん来られる時間帯で改めて説明をするべきです。

<市>

説明につきましては、お許しいただけるようであれば週末にさせていただきます。

3歳児教育については、市議会でも御議論いただいておりますが、民間でサービスを提供していただいているところに、市がサービスを拡大するのは、行政改革の面からも無理があります。先ほども申し上げたとおり、幼稚園での3歳児教育は、私立幼稚園にお願いをしている状況です。

こども園については、平成31年度からは3歳児のお子さんを受け入れる準備をしていきたいと考えています。

<地域住民>

秋津幼稚園の先生の質が良いから、今の秋津幼稚園の子どもが増えたといいますが違います。

地域が先生の質を上げているのです。こういった地域の努力をみるべきです。

<市>

御指摘のとおり、地域のみなさんに職員は育てていただいていると思います。

ただ、秋津幼稚園には、今、男性職員がいることが一つの要因であることは申し上げさせていただきます。

<地域住民>

地域バランスの話のなかで、秋津幼稚園と袖ヶ浦こども園の距離が近いという説明がありました。これはおかしいです。秋津地域全体で考えると、秋津 4 丁目、5 丁目から袖ヶ浦こども園は遠いです。

また、職員の努力などで子どもが増えたといいますが、そうではありません。地域の大人がいろんな活動をしており、子どもの見本になっているからです。

行政は、状況を公正に見ていません。白紙にするべきです。

<地域住民>

今日は、反対派しか集まっていません。

我々は民間育ちで優秀な人が多いです。市の説明は下手で組織として問題があります。熱意が伝わらない説明では、そう簡単にはいきません。

8 月末に教育委員会会議があると聞いています。そこで、10 月の園児募集に向けての決め事をするのでしょうか？

また、その半年後には、市議会で秋津幼稚園の廃止が議決されるようですが、市は焦っているのではないのでしょうか？

6 月 17 日の説明で紛糾したから、今日の場合を設け、8 月の教育委員会会議に何かを決めようとしているのでしょうか？

平成 31 年に秋津幼稚園が廃止されることが前提とした 10 月の募集を、8 月の教育委員会会議にかけられては困るので、秋津地域の住民としては計画を阻止するために動いています。

<市>

結論から申し上げますと、8 月に教育委員会会議はあります。この会議は、毎月開催しているもので会議そのものはあります。

市としては、来年度の幼稚園の園児募集として、10 月の募集の際には、これまでの状況とは違うことをアナウンスさせていただきたいと考えており、今日のような場を設けさせていただいています。

場合によっては、明確なアナウンスはせず、少し濁した状態でアナウンスすることも考えていますが、これが、保護者にとって良いことなのか、保護者や地域のみなさまと考えていきたいと思っています。

また、今後の手順としては、通常であれば、8 月の教育委員会会議に募集要項を諮り、10 月に募集していくこととなります。その募集において、みなさまにお許しをいただけるのであれば、平成 30 年度をもって秋津幼稚園を廃止することを前提として、募集させていただきたいと考えています。

市議会において、幼稚園を廃止する場合の議案は、廃止するまでに議会にかけることとなりますので、今年中ということではありません。

<地域住民>

今日の集まりも、昨日、初めて聞きました。急な説明会はあり得ません。

結論ありきの説明会で、国政と似ていて、住民の意向はどうでもいいという姿勢が見え見えです。

大勢の人が集まれて、意見を聞く場を設けて、地域住民から多くの反対意見が出れば、一旦、白紙に戻すべきです。

<市>

先週のうちに案内させていただいていましたが、大変失礼しました。

今後のことについては、しっかりと日時を設定させていただき、説明させていただきたいと考えています。

<地域住民>

今日の地域住民からの意見に対して、市は有効な説明がほとんどできていません。

市の対応はあまりにも拙速であり、香澄幼稚園ありきで、何か意図があるのではないのでしょうか。

今日、この場で香澄幼稚園にこども園を設置することを白紙撤回し、再検討することを約束すべきです。

また、今後のスケジュールについても、この場で白紙撤回することを約束すべきです。

<市>

これまでの御意見を伺いますと、地域の方々に幼稚園や小学校の子どもたちを支えておいただき、まちづくりをしていただいていると感じました。

今日、提案させていただいた内容について、全て白紙撤回することについては、この場では申し上げられません。

幼稚園がなくなるということは、保護者のみなさまにとっても、地域のみなさまにとっても大きな問題です。ただし、今、何とかしようとするのは地域の子どものことを思っていることです。

<地域住民>

はぶらかしの、繰り返しの説明はいりません。
この場で全てを白紙撤回できないのは、なぜですか？
香澄幼稚園ありきの説明はいりません。

<地域住民>

5歳の年長児と3歳で、来年、年少で秋津幼稚園に入れたい子どもを持つ親です。
幼稚園等のこともあり5年前に秋津地域に転入してきました。
保護者説明の時にゼロベースで再検討をお願いしたので、その結論を聞きに来ましたが、決定事項を聞いているようで、印象として残念です。

<地域住民>

秋津幼稚園と香澄幼稚園の問題について、まず、秋津地域と香澄地域の双方で話し合う場を設けるべきで、なぜ、そのような場を設けなかったのでしょうか？

<市>

市としては、まず、それぞれの幼稚園の保護者に説明をし、地域のみなさまに説明をさせていただいている状況です。
直接、地域の住民のみなさまどうしが話すことは、得策ではないと考えました。

<地域住民>

なぜ、得策でないと考えたのですか？

<市>

地域のみなさまの間に摩擦を生じさせたくないと考えたためです。

<地域住民>

こども園構想を白紙撤回してくれとは言っていません。

香澄幼稚園ありきの考えを撤回するべきです。
行政から合理的な説明がありません。
この場で白紙撤回するべきです。

<地域住民>

香澄幼稚園の方を選択したのは誰ですか？

<市>

当然ながら、市長、副市長、教育長に、こども部としての案を説明した上で、こういった説明をさせていただいております。

今日の提案は、香澄幼稚園に秋津幼稚園を統合させていただき、平成 31 年からこども園として運営させていただきたいというもので、決定事項ではありません。

<地域住民>

自身の勉強会に端を発して、秋津幼稚園を守る会が発足しました。また、署名活動の準備もしています。

平成 31 年 3 月議会で秋津幼稚園の廃止条例が可決されないよう、8 月の教育委員会会議や 9 月議会に向けて、陳情・請願の提出することを検討しています。

内情を話すと、市議会で請願が採択されても強制力はありません。市は、本件について、請願が採択された場合はどうするつもりなのでしょうか？

そもそも、市が拙速な説明をし、ボタンの 1 つ目のかけ違いからこのようなことが始まっています。

公務員は全体の奉仕者なので、地域住民からの意見を求めるのではなく、行政として、少なくとも過半数の人を納得させる説明をすることが務めです。

<市>

8 月の教育委員会会議において、募集に係る議案が採択されなければ、10 月の募集は行えないこととなります。

また、市議会において請願が採択された場合でも、強制力はないため、行政事務を進めることはできますが、これまでもこういった場合には、請願を真摯に重く受け止め、それに対応してききました。

<地域住民>

白紙にできないとのことですが、香澄幼稚園を選択したことについて、市長をはじめ、上司等に説明するにあたり、メリット・デメリット等を示した十分な検討資料があると思いますので、その資料を地域にも示してほしいです。

<市>

資料については、確認をさせていただき、改めて、お示しさせていただきます。

<地域住民>

今日の結果を地域住民にどう伝えてもらえるのでしょうか？

また、今日のことを、正しく市長にきちんと報告して欲しいです。

<市>

その点については、きちんとお約束します。

<地域住民>

平成30年度の募集の内容で、平成31年に秋津幼稚園を廃園させるとすることについて白紙撤回すべきです。

地域住民に強く反対されたことを、市長や教育長に対して徹底的に報告すべきです。

4. 閉会

《問合せ》

習志野市こども政策課 電話番号 047-451-1151(内線:442・433)